

## 【七日市場安曇盆唄】

安曇盆唄は安曇一円だけでなく、筑摩、松本でも古くから唄われ踊られていた。しかし、次第に踊る人がなくなり何時しかすたれてしまった。

昭和 34 年 9 月、年寄りの日に「七日市場老人クラブ」が発足し、その活動として健康や懇親だけでなく、クラブの後世への責務として「安曇盆唄を復元し伝えよう」と決められた。細田八郎・丸山清・丸山定一・三澤まつゆきの・松尾いそへ・松尾みきへの 6 人によって、仲間の記憶と調査研究の結果復元された。曲は会員の歌声を信州大学「町田等教授」によって採譜され、またレコード「安曇盆唄」が 5 枚作成された。

昭和 39 年 1 月、保存会として「安曇盆唄復元回顧録」を冊子として残した。会員 22 名。三郷村公民館に認められて「三郷村誌」「南安曇郡誌」にも掲載され、また朝日・中部日本・信濃毎日新聞等でも数回にわたって報道され、安曇節の元歌だろうとも言われた。

昭和 40 年代後半になって、役員の交代などもあってか、以後の活動もなくなり、再び地域から忘れられていた。

平成 8 年 9 月、七日市場公民館改築の折、残されていたレコードが発見された。また、元会員の家から前記の「安曇盆唄復元回顧録」が見つかった。

先人の偉業を偲び、何としても再度復元しようと、七日市場公民館の協力によって「再復元の会」が結成された。

平成 9 年 6 月、回顧録、レコードなどにより「七日市場踊の会」を中心に踊り、振り付け、ササラ打らなど再復元された。復元の会は「七日市場安曇盆唄保存会」と改称された。

平成 10 年 11 月、NBS による「歌のなかの情景 安曇節」で、安曇節のルーツとして、安曇盆唄が放映された。

以来、七日市場夏祭り、老人クラブ行事、公民館・保存会総会などで踊られている。また、19 年から毎年安曇野市老人クラブの芸能発表会に七日市場考人クラブが出演している。

現在「安曇盆唄保存会」の会員は 45 名である。関係する方々の協力や活動によって、安曇盆唄が継承されることは七日市場にとって有意義なことである。七日市場盆唄の DVD の今後の活用も期待される。

DVD 作成は丸山博幸、ナレーションは丸山功子二民による。

安曇盆唄保存会(平成 22 年 12 月)

1. 音頭とりましょ 仰せとあらば  
声は悪くも うたいましょ チョコサイコロコイ
2. 踊りますぞえ お十五夜様にや  
月の山端へ 這入るまで
3. 馬鹿にしゃんすな 枯れ木だとて  
藤がからめば 花が咲く
4. ササラササラと 鳴る音聞けば  
糸も車も 手にやつかぬ
5. 松の葉のような 縁ならよかる  
枯れて落ちて二人連れ
6. 送りましょうか 送られましょうか  
せめて峠の 茶屋までも